

運動会練習が始まり学校が賑わい、子供たちが徐々に運動会に向けて気持ちが盛り上がりつつある中、去る5月13日（火）に今年度第1回目の「学校運営委員会」が開催されました。今回は、学校より学校経営方針や来年度の運動会に向けての話をし、その後委員による意見交換が行われました。

令和7年度 学校運営委員・事務局の紹介（敬称略）

〈委員長〉細越 淳二（国士舘大学 教授）	佐藤 芳秋（学校支援コーディネーター）
戸崎 啓一（元PTA会長）	
廣川 哲（地域関係者）	吉田 太一（オヤジの会会長）
佐々木 潤（元オヤジの会会長）	中村 千里（PTA会長）
佐藤 弘典（本校 校長）	
〈事務局〉寺西 智恵（副校長）	金井 雅弘（主幹教諭）
	小関 智子（主幹教諭）

【学校運営委員会報告】

1 委員長あいさつ

国士舘大学の教員です。委員長を拝命しました。佐藤校長のリーダーシップのもと、子供たちが元気に過ごしているのはうれしいことです。学校の不審者や事故などあってはならないことについて一つ一つ学校で確認して取り組んでいってほしいです。

2 校長あいさつ

本校4年目になりました。令和9年度の理科東京大会を控えております。本校は都内5校のうちの一つです。全国に理科を通じてよい学びを発信していきたいと考えています

3 自己紹介

委員 A:前 PTA 会長です。運営委員としてお手伝いしていきたいと考えています。

委員 B:おやじの会の代表です。子どもが5年生と3年生にいます。1年間よろしくお願いします。

委員 C:5, 6年前に PTA 会長をしていました。今は世田谷中学校の PTA 会長をしています。学校がよくなっていくよう取り組みたいと考えています。

委員 D:今年度より PTA 会長になりました。先日 PTA の役員分科会に出席しました。学校によって PTA

の在り方が違うと感じました。

5. 経営方針

校長：子どもの主体性を育み、みんなが育つ学校を作っていきます。重点目標としては、

① 自分の力を生かす②お互いを認め合う③とにかくやってみる

これらを通して、令和の日本型学校教育の推進に取り組んでいきます。

働き方改革で取り組むべきことは、昨年度の学校運営委員会でお話をいただきました。背中を押していただきました。共に成長できる学校をめざします。試行錯誤が大切だと考えています。日本は OECD で上位にいますが、それが生かされていないように思います。中教審に示されているように、主体性・自立が大切です。このことは20年前から言われていました。

5. 運動会について（大澤教諭・船戸教諭）

運動会を仲間作りの場としたい。また、地域を巻き込んでいい学校を作っていこうという場にしたい。

委員 A：以前は PTA 競技があった。なぜそうしていくのか皆さんに発信していく必要がある。運動会に関する教育的観点を保護者が持っているか。

委員 C：陸上記録会は説明を聞くと、すごい意味のある事だと思います。自分が伸びていくということが自分でわかるようにしているのは良いと思います。成長を体験できます。

大澤教諭：2色から3色への変更を考えています。1色当たりの人数が減り、「僕の私の応援団」という認識になる。また、クラスの中で勝ち負けが薄まる。運動会の勝ち負けを楽しむ運動会にしたい。これは、来年度の運動会の提案です。

委員長：これまでのこれがよくないから変更するというのではなく、変更するとこんなよいことがある表現にしたほうが良い。

委員 C：仲間づくりのために、どんな種目にするのか、いろいろな評価軸があるとよい。

委員 A:競走は大事と考えた時、どこから個が生まれてくるのですか？対抗しない方向だと、モヤモヤするところがあるかも。

委員 C:集団の勝ち負けは大事。社会的な考えが身につく。「この競技で勝った、負けた」は必要。

委員 A:絆フェスタはわかりやすい名前だと思う。説明の仕方が大事。なぜ3色なのかなど。教育方針や事例をシンプルに伝えるようにしたほうが良い。

5 次回開催日程

6月11日（火）18：00～